

授業コード・科目名/Registration Code・Course Title	164017203 映像論 -2		
担当者名/Instructor	ヨハン・ノルドストロム		
開講年度学期/Academic Year, Semester	2026年度後期	授業区分/Class Category	週間授業
単位数/Credits	2.0単位	年次/Year (※履修しうる最低年次を表示)	1年
教室/Classroom	※調整中	ナンバリング/Course Numbering	ASA-A1-3-1-01-1
授業の概要/Course Summary	映画と映画分析の研究を紹介しながら、映画がどのように意味を生み出し、社会的文脈の中に組み込まれているかを理解することに重点を置く。物語構成、カメラ技術、編集、音響、照明、ミザンシーン、演技など、映画の形式を構成する要素の学習を通して、学生は映画がどのように作られ、これらの要素がどのように組み合わせられて映画の美学や意味の生成を生み出しているのかを学ぶ。この科目の最終的な目標は、映画が単に受動的に消費される娯楽ではないことを理解してもらうことである。映画は意味を生み出す芸術であり、美的分析に値するものである。		
授業の方法/Course Approaches or Methods	毎週、学生は授業開始前に指定された映画を視聴し、指定された文献を読み終えておく必要がある。授業は講義、映画上映、ディスカッションで構成される。学生は映画の形式を詳細に分析し、撮影技術がどのように意味を生成するかについて議論に参加する。また、学生はグループで短編映画を制作し、学んだ概念を実践的に応用する。		
授業の方法（アクティブ・ラーニングの種別）/Type of Active Learning	A. PBL（課題解決型学習）/C. ディスカッション、ディベート/D. グループワーク		
学生に対する教員からのフィードバック方法/Ways to Give Feedback to Students	口頭で、また必要に応じてメールで行います。		
学位授与方針との関係/Relations with Diploma Policy	学位授与方針との関係は、カリキュラムマップを参照してください。		
授業の到達目標/Course Goals	<ul style="list-style-type: none"> ● 映画の基本的な構成要素を理解する ● 映画の視覚的・様式的側面を分析し、それが意味とどのように関連しているかを説明できる ● 映画を分析する際に、基本的な映画理論の概念を活用する ● 短編映画制作を通じて撮影技術を実践的に応用する 		
授業計画（半期14項目、通年28項目 回数毎の内容含む）/Course Plan	<p>第1回: コース紹介——総合芸術としての映画 映画: 『我等の生涯の最良の年』(ウィリアム・ワイラー監督、1946年) テーマ: 統合的映画制作、ディープフォーカス撮影、戦後アメリカ社会 読書: ライアン&レノス『映画分析入門』 pp. 1-34</p> <p>第2回: アートとしての映画——フレーム構成 映画: 『ノーカントリー』(コーエン兄弟監督、2007年) テーマ: 視覚構成、ネガティブスペース、ロジャー・ディーキンス撮影術 読書: ライアン&レノス『映画分析入門』 pp. 37-51</p> <p>第3回: アートとしての映画——カメラワークと編集 映画: 『七人の侍』(黒澤明監督、1954年) テーマ: カメラ移動、ダイナミックな構図、アクション振付、コンティニューイティ編集 読書: ライアン&レノス『映画分析入門』 pp. 53-95</p> <p>第4回: 芸術としての映画——編集とサスペンス 映画: 『鳥』(アルフレッド・ヒッチコック監督、1963年) テーマ: モンタージュ理論、コンティニューイティ編集、サスペンス構築、音響デザイン 読書: ライアン&レノス『映画分析入門』 pp. 53-95</p> <p>第5回: 芸術としての映画——ミザンセーンと精読 映画: 『花様年華』(ウォン・カーウァイ監督、2000年) テーマ: 色彩、衣装、空間構成、視覚的詩情、詳細な分析 読書: Gibbs, John & Pye, Douglas. "Introduction" in <i>Style and Meaning: Studies in the Detailed Analysis of Film</i> (2005), pp. 1-16</p> <p>第6回: 芸術としての映画——物語とナレーション 映画: 『快楽』(マックス・オフルス監督、1952年) テーマ: オムニバス構造、ボイスオーバー、物語の複雑性、隠喩、キャラクター、モチーフ 読書: ライアン&レノス『映画分析入門』 pp. 119-140</p> <p>第7回: 芸術としての映画——キャラクター類型と視覚的モチーフ</p>		

	<p>映画: 『マトリックス』(ウォシャウスキー姉妹監督、1999年) テーマ: 視覚的モチーフ、象徴(鏡、コード、赤/青)、キャラクター類型、ディストピアの物語 読書: ライアン&レノス『映画分析入門』pp. 119-140</p> <p>第8回: 映画のスタイル——リアリズムと表現主義 映画: 『野いちご』(イングマル・ベルイマン監督、1957年) テーマ: 夢のシーケンス、主観的現実、表現主義的イメージ、死、記憶 読書: Wood, Robin & Lippe, Richard. Ingmar Bergman: New Edition (2012), pp. 4-24</p> <p>第9回: 映画分析——精読と意味づけ 映画: 『暗殺の森』(ベルナルド・ベルトルッチ監督、1970年) テーマ: 政治的寓話、視覚的象徴、ヴィットリオ・ストラーロ撮影、ファシズム 読書: Gibbs, John & Pye, Douglas. "Introduction" in Style and Meaning (2005), pp. 1-16</p> <p>第10回: 映画分析——フィルム・ノワール 映画: 『深夜の告白』(ピリー・ワイルダー監督、1944年) テーマ: ノワールの慣習、ファム・ファタール、明暗法照明、ボイスオーバー、宿命論 読書: Walker, Michael. "Film Noir: Introduction" in The Movie Book of Film Noir (1992), pp. 8-38</p> <p>第11回: 映画分析——ミュージカル 映画: 『ゴールドディガーズ』(1933年・ワーナー・マーヴィン・ルロイ) テーマ: ミュージカルの慣習、シネマスコープ的ノスタルジア、色彩象徴、ユートピア的娯楽 読書: Dyer, Richard. "Entertainment and Utopia." Only Entertainment (2005), pp. 19-35</p> <p>第12回: 映画分析——メロドラマ 映画: 『エデンより彼方に』(トッド・ヘインズ監督、2002年) テーマ: メロドラマの慣習、サークのオマージュ、テクニカラー美学、抑圧、家族力学 読書: Elsaesser, Thomas. "Tales of Sound and Fury" in Film Genre Reader IV (2012), pp. 433-462</p> <p>第13回: 映画分析——ホラーI (孤立と闇) 映画: 『遊星からの物体X』(ジョン・カーペンター監督、1982年) テーマ: ポディホラー、パラノイア、実用効果、閉所恐怖の雰囲気、怪物的なもの 読書: Wood, Robin. "Return of the Repressed." Film Comment 14.4 (1978), pp. 24-42</p> <p>第14回: 映画分析——ホラーII (共同体と光) / 短編映画プレゼンテーション 映画: 『ミッドサマー』(アリ・アスター監督、2019年) テーマ: フォークホラー、白昼のホラー、色彩理論、視覚的象徴、サイケデリック映像、トラウマ 読書: Wood, Robin. "Return of the Repressed." Film Comment 14.4 (1978), pp. 24-42 注: この授業中に短編映画のグループプレゼンテーションを実施</p>
授業形態の種類/Type of Teaching Methods	A. 対面授業
授業形態の種類(詳細) ※必ずmanabaも確認すること。	対面授業です。毎週、学生は授業開始前に指定された映画を視聴し、指定された文献を読み終えておく必要がある。授業は講義、映画上映、ディスカッションで構成される。学生は映画の形式を詳細に分析し、撮影技術がどのように意味を生成するかについて議論に参加する。また、学生はグループで短編映画を制作し、学んだ概念を実践的に応用する。
成績評価の方法/Methods of Evaluation	<p>積極的な授業参加 (20%) 定期的な読書、出席、参加が求められる。この授業には毎週の読書に関する知識に基づいた活発なディスカッションが含まれるため、学生は全ての指定教材を注意深く読み、毎週指定された映画を視聴し、ディスカッションに積極的に参加する準備をして授業に臨むことが不可欠である。学生は、指定された作品に批判的に取り組み、読書についての見解を他の学生や教員と議論することによって、積極的な役割を果たすことが期待される。</p> <p>短編映画プロジェクト (30%) コース期間中、学生は小グループに分かれて短編映画(1分以内)を制作する。映画は特定の映画技法または物語構造を例証するものでなければならない。完成した映画はグループによって授業でプレゼンテーションされる。携帯電話やタブレットで必要な映像を撮影し、Apple iMovieやDaVinci Resolveなどの無料編集ソフトウェアで編集することを推奨する。短編映画の具体的な指示はコース中に発表される。 スケジュール:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コース期間中に指示を発表 ● グループ作業は授業外時間に実施 ● 第14回授業中にプレゼンテーション <p>期末試験 (50%) 期末試験は教室内で執筆する筆記試験である。学期中に学んだ内容に基づき、映画の形式、技法、理論の理解を示す分析的エッセイを執筆する。 持ち込み可能物: 手書きの授業ノート、教科書・参考書(紙媒体のみ)、プリントアウトした資料 重要: 試験中の電子機器使用は試験不合格となり、大学当局にカンニング行為として報告される。</p>
授業外学修(準備・事後学習等に必要時間・具体的な内容)/Prep&Review	毎週映画を見て文献を読み、短編映画プロジェクトに取り組む。これらの学修に60時間以上を要する。

授業外学修（※参照用）/Prep&Review for reference	授業外学習については以下を確認してください。 https://www3.jwu.ac.jp/fc/public/unvfile/academics/curriculum/tani_gakushu.pdf
使用テキスト/Text to be used	<ul style="list-style-type: none"> • "An Introduction to Film Analysis: Technique and Meaning in Narrative" by Michael Ryan, Melissa Lenos (Bloomsbury Academic, 2020) • 追加文献（論文・書籍の章）は授業またはmanabaで配布 • 映画: Amazonプライムビデオ、Netflix、Hulu、などストリーミングサービス、またはレンタルかDVD購入で視聴
使用言語/Language	日本語・その他
参考書（参考資料等）/Reference Books	<ul style="list-style-type: none"> • D・ボードウェル『フィルム・アート—映画芸術入門』、名古屋大学出版会。 • ブランドフォードほか『フィルム・スタディーズ事典 映画・映像用語のすべて』、フィルムアート社。 • 村山編『映画史を学ぶクリティカル・ワーズ』、フィルムアート社。
その他（受講生への要望）/Notes, Message to Students	映画は購入して、またレンタル、ネット配信などで必ず見てください。 教室内での電子機器使用について 重要: 講義、ディスカッション、および期末試験中は電子機器の使用を一切禁止する（コンピュータ、タブレット、携帯電話等）。全ての電子機器は電源を切って鞆にしまうこと。授業中のノート作成はペンと紙のみ許可される。 注: 指定された短編映画制作作業セッションおよびプレゼンテーション時には電子機器の使用を許可する。
学位授与方針（※参照）/Diploma Policy	学部 https://www.jwu.ac.jp/unv/about/information/ct6r0e000000afr0-att/syllabus_DP_code_unv.pdf 大学院 https://www.jwu.ac.jp/unv/about/information/ct6r0e000000d6gg-att/syllabus_DP_code_grd.pdf
授業形態の種類について（※入力にあたっての注意事項）	2026年度は原則として対面で授業を行います（一部遠隔授業科目を除く）。 対面授業と遠隔授業（同時双方向型及びオンデマンド専用型）の区分は以下のとおりとする。 対面授業 遠隔授業対象区分以外の全ての授業科目（対面授業に相当する教育効果を有すると認められる場合は、予めシラバスに記載することにより授業回数の1/3まではZoom・manaba等を用いた双方向型遠隔授業とすることができる。） 同時双方向型…対面授業と同様に曜日・時限を設定し教室配当を行う。 Zoom等を用いた同時双方向型遠隔授業科目（対面授業に相当する教育効果を有すると認められる場合は、予めシラバスに記載することにより授業回数の1/3まではmanaba等を用いたオンデマンド専用遠隔授業とすることができる。） オンデマンド専用型…オンデマンド専用型曜日・時限を設定し教室配当を行わない。 manaba等を用いた動画・資料配信によって行う遠隔授業科目 ・対面で実施しない教養科目（月・火・水・金6時限） ・教養科目以外のオンデマンド科目用に、木4・5時限をオンデマンド専用時間帯として設定する。（教養科目以外は、通常の曜日・時限にもオンデマンド科目を置くことができる。） ※ご担当科目の授業形態が不明の場合には、ご担当科目の科目区分責任者にお問い合わせください。
「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表（※参照用）	https://www.jwu.ac.jp/unv/academics/curriculum/ct6r0e0000009bmr-att/kyoin_kamoku.pdf

Registration Code · Course Title	164017203 FILM STUDIES		
Instructor	Nordstroem Johan		
Academic Year, Semester	Second Semester 2026	Class Category	Every week
Credits	2.0Credits	Year	1Year
Classroom	※調整中	Course Numbering	ASA-A1-3-1-01-1
Course Summary	This course introduces students to the study of film and film analysis, emphasizing how films create meaning and are embedded in social contexts. Through examination of narrative construction, camera techniques, editing, sound, lighting, mise-en-scène, and performance, students learn how films are made and how these elements combine to produce cinematic aesthetics and meaning. The ultimate goal is for students to understand that film is not merely passive entertainment, but an art form that generates meaning and deserves aesthetic analysis.		
Course Approaches or Methods	Each week, students are required to watch designated films and complete assigned readings before class. Classes will involve lectures, film screenings, and discussions. Students will engage in close analysis of film form and participate in discussions about how cinematic techniques create meaning. Students will also create short films in groups to apply learned concepts practically.		
Type of Active Learning	A. Problem Based Learning / C. Discussion, Debate / D. Groupwork		
Ways to Give Feedback to Students	Feedback will be provided through in-class discussions, group feedback on short film presentations, and individual consultation as needed.		
Relations with Diploma Policy	学位授与方針との関係は、カリキュラムマップを参照してください。		
Course Goals	<ul style="list-style-type: none"> • Understand the basic components of cinema • Analyze the visual and stylistic aspects of film and explain how they relate to meaning • Apply basic film theory concepts when analyzing cinema • Apply cinematic techniques through practical short film creation 		
Course Plan	<p>Week 1: Course Introduction - Cinema as Total Art Film: The Best Years of Our Lives (William Wyler, 1946) Theme: Integrated filmmaking, deep focus cinematography, post-war American society Reading: Ryan & Lenos, An Introduction to Film Analysis, pp. 1-34</p> <p>Week 2: Film as Art - Frame Composition Film: No Country for Old Men (Coen Brothers, 2007) Theme: Visual composition, negative space, cinematography (Roger Deakins) Reading: Ryan & Lenos, An Introduction to Film Analysis, pp. 37-51</p> <p>Week 3: Film as Art - Camera Work & Editing Film: Seven Samurai (Akira Kurosawa, 1954) Theme: Camera movement, dynamic composition, action choreography, continuity editing Reading: Ryan & Lenos, An Introduction to Film Analysis, pp. 53-95</p> <p>Week 4: Film as Art - Editing and Suspense Film: The Birds (Alfred Hitchcock, 1963) Theme: Montage theory, continuity editing, suspense construction, sound design Reading: Ryan & Lenos, An Introduction to Film Analysis, pp. 53-95</p> <p>Week 5: Film as Art - Mise-en-scène and Close Reading Film: In the Mood for Love (Wong Kar-wai, 2000) Theme: Color, costume, spatial composition, visual poetry, detailed analysis Reading: Gibbs, John & Pye, Douglas. "Introduction" in Style and Meaning: Studies in the Detailed Analysis of Film (2005), pp. 1-16</p> <p>Week 6: Film as Art - Narrative and Narration Film: Le Plaisir (Max Ophüls, 1952) Theme: Anthology structure, voice-over narration, narrative complexity, metaphor, character, motif Reading: Ryan & Lenos, An Introduction to Film Analysis, pp. 119-140</p> <p>Week 7: Film as Art - Character Archetypes and Visual Motifs Film: The Matrix (Wachowskis, 1999) Theme: Visual motifs, symbolism (mirrors, code, red/blue), character archetypes, dystopian narrative Reading: Ryan & Lenos, An Introduction to Film Analysis, pp. 119-140</p> <p>Week 8: Film Style - Realism and Expressionism Film: Wild Strawberries (Ingmar Bergman, 1957) Theme: Dream sequences, subjective reality, expressionist imagery, mortality, memory Reading: Wood, Robin & Lippe, Richard. Ingmar Bergman: New Edition. Wayne State University Press, 2012, pp. 4-24</p>		

	<p>Week 9: Film Analysis - Close Reading and Making Meaning Film: The Conformist (Bernardo Bertolucci, 1970) Theme: Political allegory, visual symbolism, Vittorio Storaro cinematography, fascism Reading: Gibbs, John & Pye, Douglas. "Introduction" in <i>Style and Meaning: Studies in the Detailed Analysis of Film</i> (2005), pp. 1-16</p> <p>Week 10: Film Analysis - Film Noir Film: Double Indemnity (Billy Wilder, 1944) Theme: Noir conventions, femme fatale, chiaroscuro lighting, voice-over narration, fatalism Reading: Walker, Michael. "Film Noir: Introduction" in <i>The Movie Book of Film Noir</i>, edited by Ian Cameron (Studio Vista, 1992), pp. 8-38</p> <p>Week 11: Film Analysis - The Musical Film: Gold Diggers of 1933 (Mervyn LeRoy, 1933) Theme: Musical conventions, CinemaScope nostalgia, color symbolism, utopian entertainment Reading: Dyer, Richard. "Entertainment and Utopia." <i>Only Entertainment</i>. Routledge, 2005, pp. 19-35</p> <p>Week 12: Film Analysis - Melodrama Film: Far from Heaven (Todd Haynes, 2002) Theme: Melodramatic conventions, Sirkian homage, Technicolor aesthetics, repression, family dynamics Reading: Elsaesser, Thomas. "Tales of Sound and Fury: Observations on the Family Melodrama." <i>Film Genre Reader IV</i>. University of Texas Press, 2012, pp. 433-462</p> <p>Week 13: Film Analysis - Horror I (Isolation and Darkness) Film: The Thing (John Carpenter, 1982) Theme: Body horror, paranoia, practical effects, claustrophobic atmosphere, the monstrous Reading: Wood, Robin. "Return of the Repressed." <i>Film Comment</i> 14.4 (1978), pp. 24-42</p> <p>Week 14: Film Analysis - Horror II (Community and Light) / Short Film Presentations Film: Midsommar (Ari Aster, 2019) Theme: Folk horror, daylight horror, color theory, visual symbolism, psychedelic imagery, trauma Reading: Wood, Robin. "Return of the Repressed." <i>Film Comment</i> 14.4 (1978), pp. 24-42 Note: Short film group presentations during this class</p>
Type of Teaching Methods	A. Face-to-face Classes
Type of Teaching Methods in Detail	Face to Face teaching. Each week, students are required to watch designated films and complete assigned readings before class. Classes will involve lectures, film screenings, and discussions. Students will engage in close analysis of film form and participate in discussions about how cinematic techniques create meaning. Students will also create short films in groups to apply learned concepts practically.
Methods of Evaluation	<p>Active Class Participation (20%) Regular reading, attendance, and participation are required. Since this class includes informed active discussions of each week's readings, it is essential that students come to class having read all the assigned materials carefully, seen the weekly designated films, and be prepared to engage actively in the discussion. Students are expected to take an active role by critically engaging with assigned works and by discussing their views on the readings with fellow students and the instructor.</p> <p>Short Film Project (30%) During the course, you will be divided into smaller groups to create short films (no longer than 1 minute) that exemplify a set of specific film techniques or narrative structures. The film will be presented in class by the group. It is recommended that you film the necessary footage with your cellphone/tablet and edit it together with free editing software, such as Apple's iMovie or DaVinci Resolve. The specific instructions for the short film will be announced during the course. Timeline:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Instructions announced during course • Group work conducted outside of class time • Presentations during Week 14 <p>Final Examination (50%) The final examination will be an in-class essay exam based on material covered throughout the semester. Students will write analytical essays demonstrating their understanding of film form, technique, and theory. Permitted materials: Handwritten class notes, textbooks and reference books (paper only), and printed materials. CRITICAL: The use of electronic devices during the exam will result in exam failure and will be reported to university administration as academic dishonesty.</p>
Prep&Review	Students will watch films, read assigned materials, and work on short film projects. This study requires more than 60 hours throughout the semester.
Prep&Review for reference	Please check the following regarding out-of-class learning. https://www3.jwu.ac.jp/fc/public/unvfile/academics/curriculum/tani_gakushu.pdf
Text to be used	The book "An Introduction to Film Analysis: Technique and Meaning in Narrative" by Michael Ryan, Melissa Lenos (Bloomsbury Academic, 2020) + hand out prints (in English). You will need to watch films by watching them online via Amazon Prime Video, Netflix, Hulu, etc., or renting/purchasing DVDs.

Language	Japanese or other(except English)
Reference Books	<ul style="list-style-type: none"> •Bordwell, David. "Film Art: An Introduction" (McGraw-Hill Education, 2023) • ブランドフォードほか 『フィルム・スタディーズ事典 映画・映像用語のすべて』、フィルムアート社。 • 村山編 『映画史を学ぶクリティカル・ワーズ』、フィルムアート社。
Notes, Message to Students	<p>Please make sure to see the films and read the literature for each class.</p> <p>Electronic Device Policy IMPORTANT: The use of electronic devices is strictly prohibited during lectures, discussions, and the final examination (computers, tablets, mobile phones, etc.). All electronic devices must be turned off and stored in bags. Only pen and paper are permitted for note-taking during class sessions. Note: Electronic devices may be used during designated short film production work sessions and presentations.</p>
Diploma Policy	<p>Undergraduate https://www.jwu.ac.jp/unv/about/information/ct6r0e000000afr0-att/syllabus_DP_code_unv.pdf</p> <p>Graduate https://www.jwu.ac.jp/unv/about/information/ct6r0e000000d6gg-att/syllabus_DP_code_grd.pdf</p>
Notes for Choosing Type of Teaching Methods	<p>In 2026, classes will be held face-to-face classes as a general rule (with the exception of some distance learning subjects).</p> <p>Face-to-face classes and distance learning (live classes and movie based classes) will be divided as follows.</p> <p>Face-to-face classes All classes other than those classified as distance learning (if it is deemed to have the same educational effect as face-to-face classes, up to 1/3 of the classes may be held as interactive distance learning using Zoom, manaba, etc. by stating this in the syllabus in advance.)</p> <p>Live Classes (Real Time)...Classrooms will be allocated in the same way as face-to-face classes, with days and times set. Live classes subjects using Zoom, etc. (if it is deemed to have the same educational effect as face-to-face classes, up to 1/3 of the classes may be held as on-demand only distance learning using manaba, etc. by stating this in the syllabus in advance.)</p> <p>Movie Based Classes (On Demand)...On-demand only days and times will be set, and classrooms will not be allocated. Distance learning subjects using videos and materials distributed via manaba, etc.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Liberal arts subjects that are not conducted face-to-face (6th period on Mondays, Tuesdays, Wednesdays, and Fridays) ・ For on-demand subjects other than liberal arts subjects, the 4th and 5th periods on Thursdays will be set aside as on-demand only times. <p>(On-demand subjects other than liberal arts subjects can also be held on regular days and periods.)</p> <p>*If you are unsure of the class format for your subject, please contact the person in charge of the subject category.</p>
Courses Taught by Instructors with Practical and/or Professional Experience	https://www.jwu.ac.jp/unv/academics/curriculum/ct6r0e0000009bmr-att/kyoin_kamoku.pdf